

弦打地区の人口(平成29年12月1日現在) 合計10,686人 男5,234人 女5,452人 世帯5,056世帯

午前8時45分、高知沖でマグニチュード9の地震が発生、高松市で震度6強、弦打沖で2.5mの津波—南海トラフ巨大地震を想定しての自主防災訓練が昨年11月12日、弦打校区の住民、各種団体の協力のもとに実施されました。

最初に、参加者は近くの避難所に集合し、安否確認の後にそろって指定避難所の弦打小学校に歩いて移動しました。



指定避難所の弦打小学校へ続々避難



避難所の体育館に移動



救出搬送訓練



AED訓練



炊き出し訓練

巨大地震に備え 自主防災訓練

小学校では、受付に避難者名簿などを提出後は、自治会ごとのAED▽災害用伝言ダイヤル(171)▽救出搬送▽耐震化などの訓練。消防関係者などの指導の下、全員が真剣な表情で取り組みました。

体育館に移動してからは、防災福祉マップの勉強、避難所ルールの説明の後、炊き出し訓練が行われました。



避難所の危険度チェック



家具類の転倒防止策などを学ぶ

放課後教室、おやこ広場スタート

コミュニティ協議会では、昨年度より生涯学習部会、保健福祉部会を中心に協議してきた子育て支援事業として、民生委員児童委員協議会や地区社会福祉協議会などの協力のもと今年度より「放課後つるピー(子ども)教室」を開校しました。

つるピー教室とは、弦打小学校に通う全児童を対象にした、子どもの安全で安心な居場所づくりのための教室です。放課後や週末に子どもたちがのびのびとすごせるよう、地域に住む様々な方々の協力のもと、自習や遊び、工作や料理などの行事を行い、元気な子どもたちと大人との笑顔があふれる教室になっています。現在は、毎週木曜日の下校後と、毎月1



おやこDEつるピー広場の様子(平成29年9月27日)



食生活改善推進員の指導でカレーづくり(平成29年9月16日、放課後つるピー教室)

回、土曜日の午前地域の中で、心豊かな元気でたくましい「つるうちっ子」を育むことを目標に頑張っています。

また、昨年7月、子育て支援「おやこDEつるピー広場」が弦打地区社会福祉協議会の主催でスタートしました。毎週水曜日に0歳から3歳児まで、みんな大歓迎の親子ふれあい広場です。ママたちも育児トークを楽しみながら、子どもと一緒に楽しい時間を過ごしています。

日玉は月に1度行われるお楽しみイベント。子どもはもちろんママにも大好評。地域のボランティアと協力しながら運営しています。

地域の成果結集ふれあい文化祭

恒例の弦打地区地域ふれあい交流事業文化祭(同実行委員会主催)が昨年10月28・29日に開催されました。

コミュニティセンターと弦打小学校体育館を利用しての大イベントでは、弦打のイメージキャラクターのつるピーとともに、大人も子どももいっしょに楽しむことができました。

コミュニティセンター館内では、地域の皆さまによる力作の数々に来館された方々から称賛の声が続々。



多くの力作がそろった作品展示



また、コミュニティセンター駐車場でバザーなど多くの店に行列ができ終日にぎわいました。

体育館では28日のつるピーのど自慢大会に続き29日は学習発表会で盛り上がりました。オープニングを飾る「中津獅子の会」の獅子舞や、弦打保育所、幼稚園の園児たちの歌ったり踊ったりする姿に感動し、出演者全員の努力に惜しみない拍手が送られました。

閉会式後の「つるピーと大抽選会」では、地域の企業、団体、有志の皆さまから提供された豪華な景品の当選者が発表される度に館内は最高潮に達しました。

天候には恵まれませんでしたが、実行委員、ボランティアスタッフ、地域の皆さまの協力により成功裏に終わりました。



つるピー連が踊る「一合まいた」。青少年健全育成キャラクターの「育実ちゃん」も特別参加

爽やかな歌声のコーラス①とエネルギーギッシユなダンス②



つるピーのど自慢大会にゲスト出演の勝賀中学校吹奏楽部

